

みんながつながる みんなにひろげる 麻雀の輪

麻雀の聖地 わかやま御坊プロジェクト 第2回 健康マージャンペアフェスタ 全国から280名が参加! ゲストプロと一緒に 麻雀で楽しく交流!



大会会場のようす

2025年(令和7年)2月16日(日)、和歌山県御坊市「御坊市立体育館」において「麻雀の聖地 わかやま御坊プロジェクト第2回健康マージャンペアフェスタ」(主催:御坊市・御坊市教育委員会・健康マージャン推進事業御坊市実行委員会・一般社団法人全

国麻雀段位審査会・一般社団法人日本健康麻将協会・一般社団法人日本スポーツ麻雀協会・競技主管・和歌山県麻雀段位審査会・御坊市健康麻雀実行委員会・特別後援:大洋化学株式会社 特別協力:一般社団法人Mリーグ機構・全国麻雀業組合連合会、協力:日本プロ麻雀連盟・最高位戦日本プロ麻雀協会・麻将連合・日本プロ麻雀協会・R・M・U、協賛:御坊市観光協会・雀魂幕末株式会社・堀口機工株式会社・株式会社スタジオパートナーズ



大会会長あいさつを行う上西代表

和歌山県御坊市では、2006年(平成18年)から「熟年高齢者健康麻雀大会」が開かれ、2019年(令和元年)に「第32回全国健康福祉祭和歌山大会ねんりんピック紀の国わかやま2019健康マージャン交流大会」、2021年(令和3年)に「第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国



歓迎のあいさつを行う三浦市長

株式会社ハウジング御坊・紀南電設株式会社・株式会社古田鉄工所・株式会社サンクリエーション・きのくに信用金庫御坊営業部・MARUNI株式会社・株式会社紀陽銀行御坊支店・J・A・紀州・明治安田生命保険相互会社和歌山支社御坊営業所)が開催された。

障害者芸術・文化祭わかやま大会紀の国わかやま文化祭2021全日本健康マージャン交流大会」を開催。この2つの全国大会では、御坊市に本社を置く全自動麻雀卓トップシェアの地元企業「大洋技研株式会社」のバッテリー搭載の全自動麻雀卓を採用して大会は好評を博し、このよう健康マージャン大会の継続開催を求める声が上がった。これを

受け御坊市では実行委員会を設立し、一般社団法人全国麻雀段位審査会と連携して準備を進め、「第1回健康マージャンペアフェスタ」を2023年(令和5年)9月24日(日)を開催、そして今回の第2回大会の開催となった。

「第2回健康マージャンペアフェスタ」を2023年(令和5年)9月24日(日)を開催、そして今回の第2回大会の開催となった。今大会には「みんながつながる みんなにひろげる 麻雀の輪」のテーマのもと、北は北海道、南は沖縄、全国各地から280名の選手が参加、ゲストプロ8名を加えた全288名・144ペアで麻雀で楽しく交流した。

競技を前に行われた開始式は主催者を代表して、弓倉正啓・御坊市教育委員会教育長の開会宣言でスタート。国歌斉唱に続いて、三浦源吾・御坊市長が「昨年度に引き続き全国各地から選手、関係者の

競技を前に行われた開始式は主催者を代表して、弓倉正啓・御坊市教育委員会教育長の開会宣言でスタート。国歌斉唱に続いて、三浦源吾・御坊市長が「昨年度に引き続き全国各地から選手、関係者の

皆様をお迎えして開催できますことを大変嬉しく思います。市民を代表して心から歓迎申し上げます。ぜひ自然と歴史ロマンあふれる御坊市を存分に楽しんでいただければ幸いです。選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮され、全国から参加された選手の方々や多くの市民とつながり、地域や世代を超えた交流の輪がひろがり、皆様方の心に残る大会となるよう願っております」と歓迎のあいさつを行った。



特別賞受賞の皆さん

「麻雀の聖地」にふさわしい条件が整っているとの評価を受け、関係各位の皆様より定期的開催の要望をいただいております。そこで、当実行委員会並びに御坊市において検討を重ねた結果、全国自治体で初となる健康マージャン全国大会継続

開催を決定し、本日は第2回大会開催が実現するに至りました。参加いただいた皆様方には、日頃の成果を存分に発揮していただくとともに選手同士の交流を深めていただき、大会を十分に楽しんでいただきたいと思います。全国よりお越しいただいた選手並びに観覧者の皆様には、御坊市の魅力を見て感じて・味わっていただき、多くの「御坊市ファン」を獲得できるように、実行委員会並びに競技役員共々おもてなしの心を大切に運営していく所存でございます」と大会会長あいさつを行った。

続いて、本大会に夫婦・親子・兄弟・姉妹で参加したペアへの特別賞であるベストファミリー賞の表彰が行われ、該当する21組のペアを代表して、和歌山県有田郡から参加の藤本晶成・真有美ペアが表彰を受けた。

その後、祝電の披露、大会役員紹介・来賓紹介が行われたのち、ゲストプロの紹介が行われた。今大会には、加藤哲郎プロ(日

本プロ麻雀連盟)、瀬戸熊直樹プロ(Team RADEN)、雷電、日本プロ麻雀連盟)、滝沢和典プロ(KONAMI麻雀格闘倶楽部)、日本プロ麻雀連盟)、魚谷侑未プロ(日本プロ麻雀連盟)、村上淳(最高位戦日本プロ麻雀協会)、日向藍子プロ(渋谷ABEMA)、最高位戦日本プロ麻雀協会、AMOSアンバサダー)、丸山奏子プロ(最高位戦日本プロ麻雀協会)、川嶋美晴プロ(最高位戦日本プロ麻雀協会)、の8名のプロが参加した。

続いて、特別表彰として最高齢者賞と最年少者賞の表彰が行われ、最高齢参加選手の吉澤静子選手(90歳、静岡県)、最年少参加選手の中村絆利選手(9歳、山形県)、佐藤想之介(9歳、福岡県)に表彰状と副賞が贈呈された。



瀬戸熊プロとの麻雀は面白いんです!



みーやちゃんの合図で競技スタート

選手を代表して、宮城県から参加の齋藤典子選手が表彰を受けた。最後に望月雅継審判長が競技規定の説明を行い、開始式は終了。御坊市公認PRキャラクターの「みーやちゃん」のスタートの合図で全4回戦の競技に入った。

この大会は、「健康マーじゃんペアフェスタ」の名前の通り、参加ペアの総合得点で順位を競うシステムで行われ、8名のプロを含めた288名の選手が4つのブロック(ハマボウゾーン・スターチゾーン・まいひれんゾーン・スイートピーゾーン)にわかれ、「大洋技研株式会社」のバッテリー搭載の全自動麻雀卓を使用して50分打ち切り半荘4回戦の競技が行われた。また、会場には麻雀



最年少参加選手の佐藤くん親子



押村さん親子

グッズや地元物産販売、観光PR等のブースが設置され、御坊市の魅力をPRした。また、今大会には中国からの国際招待選手4名が参加し、国を超えた麻雀での交流が実現した。

9歳〜90歳の老若男女が一堂に集い麻雀を楽しむようすは壮観であり、そしてとても微笑ましいものとなった。先ほど特別表彰を受けた最高齢参加者の吉澤静子さんは、静岡



サイン会での川嶋プロとファンの方の交流



最年少参加選手の中村くん。うれしい滝沢プロとの同卓

県から参加。70歳で麻雀を覚えて、今では週に3回くらい麻雀、そしてボランティアアスタツフも務めているという。「こういう大会はいろんな地方の方と交流できて嬉しいし楽しい」と話してくれた。

一方の最年少参加者の1人、佐藤想之介くんは福岡県から父親とのペアで参加。4兄弟の3番目で、一番下の子



思わず笑みがこぼれる日向プロとの記念写真



サイン会には長い行列ができた!

はまだ麻雀ができないが、兄たちと父親と家で「マーじゃん」を楽しんでいるそう。「今日は2人とも1回ずつはトップを取りたい」と目標を話してくれた。「ユニゾン子供麻雀教室大阪校」に兵庫県から通って麻雀を勉強している押村唯花さん(12



優勝に輝いた笈川健二郎・善次ペア

大会では、2回戦終了後の昼食休憩と4回戦終了後の成績集計の時間を使得ってゲストプロによるサイン会が開催された。会場にはサインを求める参加者の長蛇の列ができ、憧れのプロのサインとツーショットの写真撮影に大喜びのようすだった。4回戦終了後に行われたステータトラクシオンではゲストプロ全員がステージに登壇し、日向プロの進行で各プロが用意したプレゼントを巡るジャンケン大会が行われ、会場は大いに盛り上がった。

全競技・イベント終了後には表彰式・閉会式が開催。重里新・和歌山県麻雀段位審査会



個人成績1位。最優秀選手賞を贈られた齊藤選手

は第2回大会の優勝者の名前を付けて、今後は御坊市役所にて展示されることになっている。次に優勝トロフィー、そして副賞として大洋技研株式会社の全自動麻雀卓「AMOS JPII」が1人1台ずつに贈呈された。

準優勝は田嶋翔太・モロイペア(大阪府)、第3位は十河賢二郎・片野昭博ペア(和歌山県紀北)、第4位は堀田徳彦・木村大輔ペア(富山県)、第5位は工藤太郎・渡部健太郎ペア(健康麻将)、第6位は木下祐貴・吉田育朗ペア(山口県)、第7位は太宰泰子・齊藤典子ペア(宮城県)、第8位は須貝健・須貝美幸ペア(京都府)だった。

また、個人成績1位の齊藤典子選手(宮城県)には最優秀選手賞が授与された。

表彰終了後には、一般社団法人全国麻雀段位審査会の山岸次雄会長が講評を述べた。次に山本清司・御坊市議会議長が閉会あいさつを行い、最後に弓倉教育長が閉会宣言を行って大会はつつがなく終了した。